

私大戦略研究拠点講演会

「データサイエンスや工学における 数理の役割とその実践例について」

講師 山田 功（やまだ いさお）

東京工業大学 工学院情報通信系 教授, 兼 東京工業大学 学術国際情報センター センター長

日時 9月29日（金曜日） 16:20 ~ 17:50

場所 クリエーションコア 1階 CC101 講義室

東京工業大学の教授で、学術国際情報センター（スーパーコンピュータ TSUBAME の運用拠点）のセンター長でもある山田先生をお招きして講演会を開催いたします。前半は主に学部生・大学院生向けに、工学において数理をどのように学び、どのように活用すべきかをお話ししていただきます。後半は主に研究者向けに、最先端の凸最適化理論とその応用事例を分かりやすく解説していただく予定です。学生から研究者の方々までたくさんの参加をお待ちしております。

講演概要

これからの時代を担う若い人たちに、人工知能が苦手とする抽象化能力を涵養しておくことの大切さをお伝えしたい。前半では、実践的な抽象化能力を身につけるために、応用力を秘めた高度な数学を優れた応用事例と共に学ぶ戦略をお伝えする。後半では、最新の研究「階層構造を持つ凸最適化問題とデータサイエンスへの応用」のアイデアを背景の数理と共にやさしく紹介する。

<略歴>

1985年 筑波大学 情報学類 卒業

1990年 東京工業大学理工学研究科(電気・電子工学専攻)博士課程 修了

現在 東京工業大学 工学院情報通信系 教授,

兼 東京工業大学 学術国際情報センター(GSIC) センター長

<主な受賞歴>

2016年 文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）

2015年 IEEE Fellow, IEICE Fellow

2014年 IEEE Signal Processing Magazine Best Paper Award

2005年 ドコモ・モバイル・サイエンス賞（基礎科学部門）

その他 電子情報通信学会[論文賞(5回), 業績賞(2009)]など

<専門分野> 信号処理, 最適化, 逆問題